CHIYODA CITY NEWS
広報 千代田
平成31年(2019年)
4月5日予算特集号
代表電話☎3264-2111
発行＝千代田区
編集＝政策経営部広報広聴課
〒102-8688千代田区九段南1-2-1
URL http://www.city.chiyoda.lg.jp

詳しくは「区の仕事のあらまし」で

平成31年度予算を詳しくまとめた「平成31年度区の仕事のあらまし」は、区のHPでご覧いただけます。

また、4月中旬から情報コーナー(区役所2階)で販売します(1部600円)。

豊かな地域社会の実現に向け、健全な財政運営を継続しつつ、積極的かつ効果的な事業展開を図る予算

本年は、「天皇陛下御在位30年」、「皇太子殿下御即位」と「改元」という大きな時代の節目を迎えます。また、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」が間近に迫り、さまざまな準備を加速させる年になります。

千代田区は、これまで「豊かな地域社会の実現」に向け、子育て施策や高齢者福祉施策などを積極的に進めてまいりました。その結果、子育て世代や高齢者の方を中心に人口が増加し、魅力のある自治体として成長してきていると実感しております。

しかし、超高齢社会や人口減少社会において、社会構造の変化に即応した区政運営が求められており、更には、防災対策、道路や橋梁等の都市基盤整備などの課題も解決していかなければなりません。

このような中、千代田区として安定的で継続的な区民サービスを提供しつつ、新たな課題にも積極的に取り組み、区政を着実に推進させていく責任があります。

そこで、平成31年度予算は、「豊かな地域社会の実現に向け、健全な財政運営を継続しつつ、積極的かつ効果的な事業展開を図る予算」と位置付け、「東京2020大会を契機とした取り組み」をはじめ、「子育て・障害者・高齢者に関する取り組み」、そして、災害から都市を守る「まちの安全安心を高める取り組み」に重点に置き編成を行いました。

そして、大都市から地方へ税源を移転する税制改正が行われたとしても、健全な財政運営を進められるよう、中長期的な視点から将来をも見据えた今後の財政の見通しを明らかにしました。

この予算でお示しした施策を着実に実施することにより、次代を担う子どもたちに希望に満ちた明るい未来をつないでいけるよう、また、人生100年時代にも安心して過ごしていただけるような千代田区を創り上げてまいります。

千代田区長 石川雅己

予算特集号の主な内容

■主要な新規・拡充・独自事業の紹介
→2・3ページへ

- 東京2020大会を契機とした取り組み
- 子育て・障害者・高齢者に関する取り組み
- まちの安全安心を高める取り組み

■平成31年度当初予算の全体像
→4ページへ

- 各会計予算の規模
- 一般会計歳入予算額
- 一般会計歳出予算額(目的別)
- 一般会計歳出予算(性質別)構成比の推移
- 1年間の区民1人当たりの予算額

健全な財政運営と事業の継続化を図るとともに、区民の皆さまに税の使い道の説明責任を果たすため、5年間の財政見通しを作成しています。あわせて新規・拡充・主要事業の3年間の見通しを作成しています。詳しくは、「区の仕事のあらまし」(右上記事)をご覧ください。

東京2020大会を契機とした取り組み

気運の醸成

新規 Let's2020　5,566万円　生涯学習・スポーツ課

●園児や児童・生徒と地域住民が一緒に参加するイベントにアスリートを招き、区内開催競技の体験などを実施
●区内の団体・企業・私立学校が、アスリートなどを招いて開催するイベントや講演会などに補助

新規 独自 障害者アート世界展2020　1,300万円　文化振興課

●障害者アート世界展を平成 32 年度に開催するため、各国の障害者アーティストなどの芸術作品を事前調査

誰もが使いやすいトイレ環境の整備

独自 公衆トイレのリフレッシュ　4億2,500万円　道路公園課

●区内の公衆トイレ・公園トイレ 32 か所を順次改修。平成 31 年度は、マラソンコース周辺のトイレを優先的に整備

独自 ちよだ安心トイレの推進　49万円　生涯学習・スポーツ課

●区内のオフィスビルやコンビニエンスストアなどのトイレを来街者も利用できるよう、一般開放に向けて民間事業者への働きかけを引き続き実施

生活環境

拡充 独自 喫煙所設置対策　3億423万円　安全生活課

●ＪＴ(日本たばこ産業(株))と協力して、既設の民間喫煙所の開放を促進
●喫煙スペースの面積要件を撤廃して、省スペースの喫煙ブースにも助成するとともに、屋内喫煙所設置助成の初期費用限度額を引き上げ

独自 生活環境改善推進　4,574万円　安全生活課

●引き続き路上喫煙禁止などのサインを４か国語表記(日・英・中・韓)に改め、来街者への周知を徹底

競技場周辺の整備

独自 北の丸公園周辺地域整備の推進　9億5,800万円　道路公園課

●北の丸公園を取り巻く豊かな自然環境、時代を重ねた景観、潤いある水辺空間などの地域の魅力を踏まえ、代官町通りと九段坂公園の整備を引き続き進め、「オリンピック・レガシー」を創造

まちの安全安心を高める取り組み

災害に強い街づくり

拡充 建物の耐震化促進事業　6億2,125万円　建築指導課

●特定緊急輸送道路の沿道で必要な耐震性を満たしていない建築物に対して、助成制度を拡充
●区内の道路に面する安全性に問題のあるブロック塀に対して、改善工事の助成

普及啓発など

拡充 防災意識の普及・啓発　2,679万円　災害対策・危機管理課

●荒川の新たな浸水想定に基づいたハザードマップを作成し、区内全世帯に配布
●想定される浸水深を公共施設に表示し、ハザードマップを見える化

新規 地区防災計画策定等の支援　398万円　災害対策・危機管理課

●地区防災計画の策定に取り組む地区をモデル地区として選定し、計画策定を支援
●「地区防災計画」「コミュニティ・タイムライン」や各家庭で作成する「マイ・タイムライン」に関する講座を実施

子育て・障害者・高齢者に関する取り組み

子育て支援

保育園の待機児童ゼロを継続

独自 私立保育所等整備関連事業　12億9,334万円　子育て推進課

●平成 31 年 10 月に１園開設((仮称)神田美倉保育園)、平成 32 年度に４園開設。区有地を活用し、平成 34 年度に１園開設

拡充 独自 私立保育所等への運営補助　47億216万円　子ども支援課

●これまでの保育士奨学金返済支援などに加え、新たな補助項目を追加し、保育士の処遇改善や確保に関する支援を強化

学童クラブの待機児童ゼロを継続

私立学童クラブの整備補助　1億5,098万円　児童・家庭支援センター

●新たに２か所の私立学童クラブを整備 (平成 32 年度に麹町地区、神田地区に各１か所開設)

拡充 私立学童クラブ等への運営補助　5億5,698万円　児童・家庭支援センター

●処遇改善策として、新たに従事者１人当たり月額３万円を補助

保護者負担を軽減し、安心して子育てできる環境の整備を推進

新規 要保護児童等支援事業　4,384万円　児童・家庭支援センター

●一時的に養育が困難な児童のショートステイを、新たに区内に設置
●放課後の居場所づくりとして、学習支援や食事の提供による児童の生活支援の向上と、保護者の養育困難な状況を解消

新規 独自 障害児ケアプラン　2,022万円　児童・家庭支援センター

●障害児のライフステージに応じて、最適なサービスを受けられるようプランニングを実施
●児童福祉法に基づく障害児通所支援サービスの利用申請に必要な「障害児支援利用計画」の作成も実施

新規 重症心身障害児等支援事業　8,156万円　児童・家庭支援センター

●重度・重症心身障害児、医療的ケアが必要な児童を含む発達障害児などの通所支援を提供する体制を確保
●区内で支援を受けられるよう、専門的な指導や保護者へのサポートができる民間事業者に補助

子育て・教育環境の整備を推進

お茶の水小学校・幼稚園の整備関連事業　12億4,904万円　子ども施設課、学務課

●平成 34 年度開設に向けて、実施設計を完了し、現校舎の解体工事と新校舎の建設工事に着手
●仮校舎を使用する期間は、送迎バスを運行

四番町保育園・児童館等の整備　10億2,110万円　子ども施設課

●平成 31 年度は実施設計を完了し、既存施設の解体工事および新築工事に着手

障害者支援

障害があっても暮らしやすい地域をめざす取り組みを充実

拡充 障害者福祉手当　1億4,599万円　障害者福祉課

●精神障害者保健福祉手帳１級の方に、障害者福祉手当月額 15,500 円を支給

拡充 独自 障害者福祉センターえみふる管理運営　3億1,309万円　障害者福祉課

●障害児タイムケアサービスや障害児者の介護者レスパイトを開始
●ショートステイの定員を拡大

新規 障害者施設等整備関連事業　1,649万円　障害者福祉課、高齢介護課

●旧千代田保健所跡地を活用して障害者・高齢者複合施設を整備する基本計画を策定
●グループホームなどの機能を備えた施設整備を検討

高齢者支援

地域包括ケアの充実と、高齢者の暮らしの安心の確保を推進

拡充 独自 フレイル予防事業　907万円　在宅支援課

●フレイル(虚弱)の概念や予防の重要性をさらに普及啓発するため、フレイルを予防する講座を実施

(仮称)二番町高齢者施設の整備　6億2,930万円　高齢介護課

●民設民営の高齢者施設整備を支援。開設は平成 33 年度予定
●特別養護老人ホーム、認知症高齢者グループホームなどを整備

施設完成イメージ。実際の施設とは異なる可能性があります▶

その他の支援

感染症を予防

拡充 大人の予防接種　6,898万円　健康推進課

●肺炎球菌予防接種の定期予防接種費用を全額助成
●風しん抗体検査と予防接種費用の助成対象者を拡大して全額助成

１人ひとりの健康づくりを支援

拡充 がん検診　女性特有のがん対策　1億8,927万円　健康推進課

●すべてのがん検診の自己負担額を無料化

新規 がん患者のウィッグ等購入費助成　108万円　健康推進課

●がんと診断され治療を行っている区民に、ウィッグ(かつら)と胸部補整具の購入にかかる費用の一部を助成

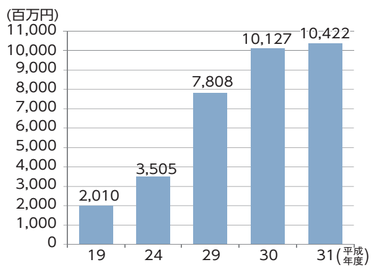
国民健康保険料の上昇を抑制

保険年金課

●区独自の保険料を設定し、保険料の上昇を抑制
●国保加入世帯の約９割の世帯で、２年連続で保険料を引き下げ

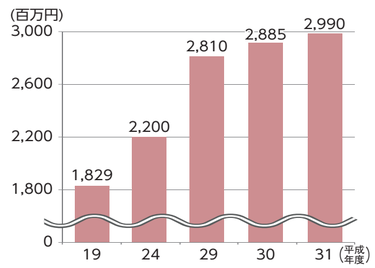
予算額の推移

子育て関連



保育園や学童クラブなど児童福祉に要する経費を集計し、職員給与費と施設整備費を除いた額

高齢者のための福祉サービス



高齢者福祉費と他会計繰出金〈国民健康保険事業会計を除く〉を集計し、職員給与費と施設整備費を除いた額

新規 ＝平成 31 年度予算で新たに取り組む事業　拡充 ＝平成 30 年度予算と比較して、事業のレベルアップを行う事業　独自 ＝区が独自に取り組む事業

平成31年度当初予算の全体像

全会計合計、一般会計ともに過去2番目に大きい予算

全会計　720億7,983万円
前年度対比△14億3,333万円（△1.9%）

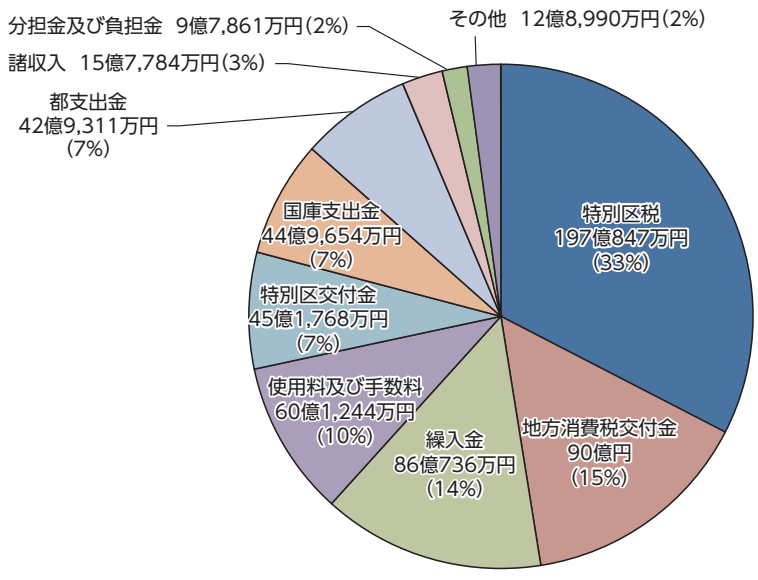
一般会計　604億8,193万円
前年度対比△14億8,266万円（△2.4%）

各会計予算の規模

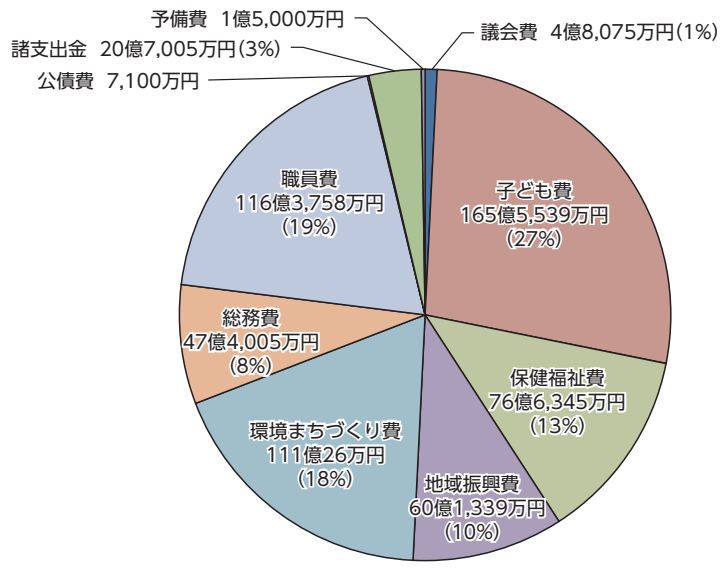
（単位：百万円）

会計名	平成 31 年度	平成 30 年度	増（△）減額	増（△）減率
一般会計	60,482	61,965	△ 1,483	△ 2.4%
国民健康保険事業会計	5,521	5,442	78	1.4%
介護保険特別会計	4,323	4,451	△ 128	△ 2.9%
後期高齢者医療特別会計	1,754	1,656	98	5.9%
全会計合計	72,080	73,513	△ 1,433	△ 1.9%

一般会計歳入予算額

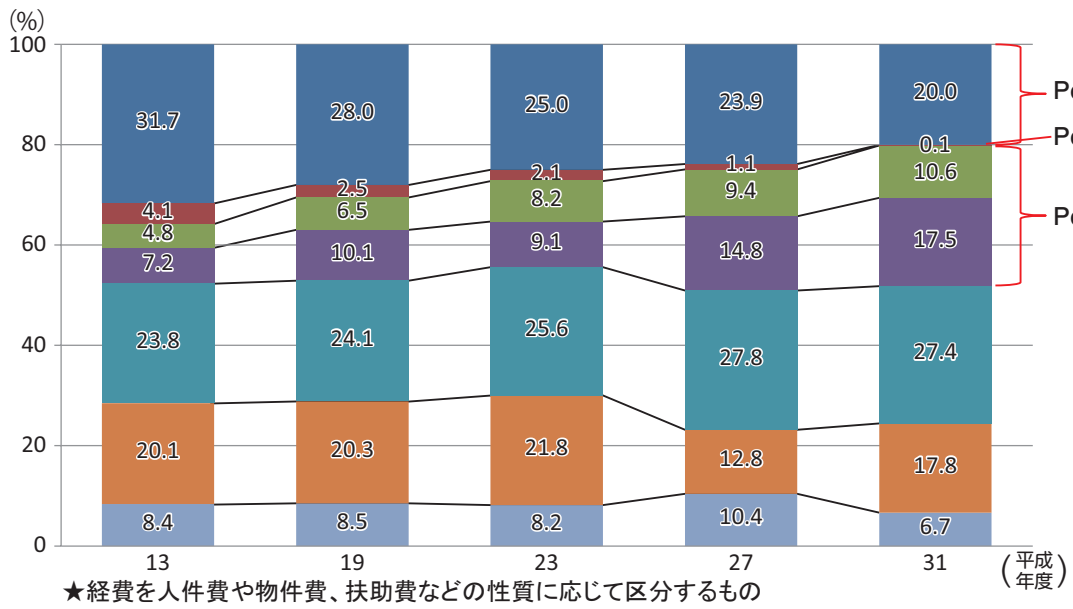


一般会計歳出予算額（目的別〈★〉）



★経費を議会費や子ども費、保健福祉費などの行政目的に応じて区分するもの

一般会計歳出予算（性質別〈★〉）構成比の推移



★経費を人件費や物件費、扶助費などの性質に応じて区分するもの

Point① 人件費を抑制

Point② 20年連続、区債（区の借金）の新規発行なし。借金を返す費用は年々減少し、平成34年度で完済予定

Point③ 社会保障（子どもや高齢者など）にかかる主な歳出となっている扶助費と補助費等は充実

- 人件費：職員の給与や退職金、委員報酬などの経費
- 公債費：借金の返済にかかる経費
- 扶助費：子どもや障害者へのサービス給付、医療費助成などの経費
- 補助費等：私立保育園などの運営補助などの経費
- 物件費：物品購入や委託などの経費
- 投資的経費：道路や公園、施設の整備などの経費
- その他：繰出金、維持補修費、積立金、貸付金、予備費

1年間の区民1人当たりの予算額　95万円

学校教育や次世代育成に
32万 5,000 円

高齢者・障害者などの福祉や保健に
17万 6,000 円

区の事務管理に
9万 8,000 円

道路や公園の整備に
9万 4,000 円

地域振興や観光、中小企業や消費者の支援に
7万 5,000 円

環境対策や清掃事業、安全・安心な生活環境に
7万 1,000円

都市の整備や住宅に
5万 8,000円

生涯学習や文化、スポーツ、図書館に
4万円

区議会に
9,000 円

将来への貯金などに
3,000円

借金などの返済に
1,000円

児童・生徒1人当たりの小・中学校費決算額（平成29年度決算）
53万2千円（23区平均26万3千円）
※地方財政状況調査および学校基本調査を基に千代田区で作成したものです。積立金、投資的経費、東京都教職員の人件費は除いています

※平成31年度一般会計予算額を施策分野ごとに、平成31年1月1日現在の住民基本台帳人口63,635人で除して算出した額(千円未満は四捨五入)

☆各図表の金額と構成比は原則として表示単位未満で四捨五入しているため、合算した数値と合計が異なる場合があります。☆